

惡セシニヤ青島ト改名ス、アシノアトオニノオトラ取りタルカ、三宅記ニハ、此島ノ形勢オラノ魚ノ鼻ニ似タリ、因テヲフ。ノ島ト名クト、ヲフノ魚ハ鯨魚乎、此島人ハ今モ身長ク、毛多ク、稍内地ノ人ニ異也、

〔西遊記續編一〕ヲガ島

余○南が野熊に遊びけるは、冬のはじめなりけるが、其年の夏の頃かといふ所に、伊豆の沖の青が島の人漂著して、其中に出来次郎といふ若者病しかば、余が友喜多氏療治をくはへて、日久敷行かれば、いろ／＼の物語を聞きとりて、余に語れり、青が島をヲガ島と唱ふ、其島は伊豆の八丈が島より遙に南の海中にある小島なるが、人は多く住けるに、十三年以前島の山火に焼出て、島中火となり、人蓄焼死ける、其中に、身分宜敷百姓の船を持たるが、家内十餘人、其船に取り乗り、火中を遁れ出て、無難に八丈が島にいたり、此年月住居したるに、青が島近年は火消て無事になりしと聞て、故郷なつかしく、八丈が島をいとま申て、又もとの船に家内男女皆々取り乗り、家内の雑具並農具まで取そへて、今年青が島へ戻る海上、難風に逢て吹流され、熊野浦へ著たるなり、其百姓の嫡子を出來次郎といひしなり、珍敷名也、八丈が島にても出生の子もありて、幼少の童子をも具せりとぞ、

地勢

〔易林本節用集〕下伊豆州管三郡東西一日餘、島多而田少、山高海莊、鹽魚類多、辨貢大中國也、

〔増訂豆州志稿一〕形勝

豆爲州南大洋張出、三面海ヲ環ス、北方纔峻相ニ接シ、西駿州東北ハ房州ト相望ム、南方極天無際ノ大海ニシテ、九島及小笠原島諸島ノ外、復一片ノ土壤ナシ、州ノ幅員里數ヲ以テ見レバ、不甚小州ガ如クナレドモ、地形斜尖ナル故州域ハ則狹窄也、且中央ニ天城山磐礮シ、函嶺左ニ蟠リ、鐸山達摩山右ニ聳ヘ、閩州凡テ亂山復嶺、嶮崎嶇唯三島ノ南二三里廣半里許ノ間平地有ノミ、其他